

日刊建設通信新聞（2026年8月24日付3面掲載）

【オリコンサルグローバル ホーチミン都市鉄道受注 非ODA実績積み】

オリコンサル グローバル ホーチミン都市鉄道受注 非ODA実績積み重ね

オリエンタルコンサルタンツグローバル（OCG）は4日、ベトナム国ホーチミン市都市鉄道管理局との間で「ホーチミン市都市鉄道6号線第1期に係る実現可能性調査報告書およびFEEED設計の照査コンサルティング業務」の契約を締結した。写真。Royal Haskoning



社とHaskoning Vietnam Company、Cuulong Construction Company、Joint Stock Companyと共同受注。OCGにとってベトナムの国内予算を財源とする都市鉄道事業の受注は初となる。受注金額は非公表。

OCGは、今回の受注を契機にベトナムでの非ODA（政府開発援助）の都市鉄道事業での実績をさらに積み重ねていく考え。

業務は、ホーチミン市の市予算を財源として実施される都市鉄道事業で、Royal Haskoning社が共同企業体の代表幹事を務め、OCGが共同企業体のメンバーとして軌道や車両、信号、電力などの鉄道システムに関する設計内容の照査を担当する。2030年の完成を目指す。

ホーチミン市都市鉄道6号線第1期は、Tan Son Nhut国際空港周辺とPhu Hu地区を結び、全長約23キロの大規模な都市鉄道事業。市内と空港を結ぶ主要な公共交通軸として、市民や来訪者の移動を支え、同市の都市交通ネットワークの強化に寄与することが期待されている。将来的には鉄道路線と接続し、国際空港と国際空港同士を鉄道で結ぶネットワークの形成も計画されている。